

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
120121027	ライフスタイル学演習Ⅲ	小野・山口			2	必修	2前期

科目の概要

本学の教育目標と教育方針である「真心・努力・奉仕・感謝」に基づく行動を促進し、社会の中で自立して生きていくためのスキル・リテラシー・教養等についての一般知識や技能を身に付けさせ、さらに個々のライフスタイルのクオリティを上げる専門的知識や専門的技能を育成することを目指す。くわえて、本学の建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に習得し、生涯学習社会の中で、自己開発に励み、職場・地域・国際社会の問題解決に貢献できる人材育成を目指す(DP1・2・3・4・5・6)

そのために、この科目の前半部分では、日常の食生活の中欠かすことのできない「コンビニ弁当」をテーマに、日本の食文化について学修を深める。また、後半部分では、地震等災害の多い日本で暮らす我々にとって、安心・安全な暮らしを確保するために何が必要なのかを考え、実践に移せるようにする。

学修内容	到達目標
① 人が暮らす、生活をつくることについて知る。 ② 「日本文化の伝統」が培ってきた暮らしの豊さを知る。 ③ 「日本文化の伝統」の課題を知ることを通して暮らしの豊かさを考える。 ④ ライフスタイル学演習Ⅰ～Ⅲで取り組んだ課題で作り上げた成果物を総点検する。	① 人が暮らす、生活をつくることについて説明できる。 ② 「日本文化の伝統」が培ってきた暮らしの豊さを説明できる。 ③ 「日本文化の伝統」の課題を知ることを通して暮らしの豊かさを考え、伝えることができる。 ④ 暮らしの豊かさとは何か、自身の考えをまとめることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。
	働きかけ力	他の学生が作成する課題についても、自身の作成する課題同様に、より良いものとなるようにアドバイスする
	実行力	作成する課題をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。
	計画力	提出期限と考え併せながら、作成する課題がより良いものとなるように作業工程を計画的に管理することができる。
	創造力	作成する課題がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチ方法を探ることができる。
チームで働く力	発信力	文章だけでなく、写真、資料なども総合してレイアウトを考え、読み手を意識した課題を作成することができる。
	傾聴力	相互レビューの際に、互いの課題がより良いものとなるように、建設的な意見を活発に交わすことができる。
	柔軟性	同級生のレビューや教員からの意見・助言を素直に受け取り、課題をより良いものにするために役立てることができる。
	状況把握力	課題の積み重ねが最終的に成果物としてまとまることを理解し、状況を考えながら活動に取り組むことができる。
	規律性	共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。
	ストレスコントロール力	成果物をより良いものとするための努力や苦労を自分自身の成長の機会と捉えることができる。

テキスト及び参考文献

そのほかの参考文献については授業内で適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

この科目での学びはライフスタイル学科で開講されるすべての科目と関連する。そして2年次後期以降に開講されるスタジオ関連科目、卒業研究へつながる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
ライフスタイル、生活情報に関する雑誌が数多くの種類、発行されているので、読み比べてみることも薦める。	授業の性質上、欠席による補習はかなりの努力が必要なため、原則として1回の欠席も認めない。特別な事情がある場合は事前に連絡をすること。補習を行わせる。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			授業の前半部分と後半部分の終わりに、各自プレゼンテーションを行なう。プレゼンテーションでは、学修した内容や自分で調べた事柄を生かしつつ（知識の獲得：30%）、それらをうまく構成し発信できるものに作り上げ（知識の活用：30%）、自分なりの提案やアイデアを紹介する（知識による解決：30%）ことが求められる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			【主体性】作成する記事をより良いものにするために、調査や推敲を重ねる努力ができる。 【働きかけ力】他の学生が作成する記事についても、自身の作成する記事同様により良いものとなるようにアドバイスすることができる。 【実行力】作成する記事をより良いものとする意志を持続し、課題を完成させることができる。 【課題発見力】与えられた課題やテーマのポイントを理解し、整理することができる。 【計画力】提出期限と考え併せながら、作成する記事がより良いものとなるように作業工程を管理することができる。 【創造力】作成する記事がより良いものとなるように、複数の角度から課題を捉え、独自のアプローチの方法を探ることができる。 【発信力】文章だけでなく、写真やレイアウトも総合して、読み手を意識した記事を作成することができる。 【傾聴力】相互レビューの際に、お互いの記事がより良いものとなるように建設的な意見を活発に交わすことができる。 【柔軟性】同級生のレビューや教員からの意見を素直に受け取り、記事をより良いものにするために役立てることができる。 【状況把握力】課題の積み重ねが最終的に1冊の成果物としてまとまることを理解し、授業に取り組むことができる。 【規律性】共同作業が多い科目であることを理解し、授業が円滑に進むよう、授業への出席、課題の提出など科目内のルールは必ず守ることができる。 【セルフコントロール力】成果物をより良いものとするための努力や苦労を自身の成長の機会と捉えることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
課題の指示に従って集めた情報を比較・検討する中で、課題の本質を理解し、それを反映しているかが問われる。本科目における課題の本質の理解とは、暮らしの豊かさにつながる事柄をいかに多く含みプレゼンテーション資料を作り上げ、うまくオーディエンスに伝えられるかを指す。多分に含み、伝達能力が高い場合はSとし、少しでも含んでおり、伝達能力にも支障がなければAとする。	課題の指示に従って、比較・検討できるだけの情報を集め、それをまとめている。効果的にまとめられている場合は、Bとし、あまり効果的とは言えないまとめ方の場合はCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	担当：小野 「コンビニ弁当に入っている食材、使用されている物を確認しよう」 課題①「コンビニ弁当にはどんな食材や物が使用されているか」ピックアップしてみよう。	講義 個人ワーク	お弁当が出来上がるまでの行程ではどんな職業の人達が携わっているのかを理解できる。	(予習) シラバスの学修内容を確認しておく。 (復習) 課題①を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	担当 小野 「コンビニ弁当に入っている食材や使用されている物にどのような人達が携わっているか確認しよう」 課題②「コンビニ弁当にはどんな人達(職業)が携わっているのか」確認してみよう。	講義 個人ワーク	お弁当が出来上がるまでの行程ではどんな職業の人達が携わっているのかを理解できる。	(予習) シラバスの学修内容を確認しておく。 (復習) 課題②を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	担当：小野 地産地消のテーマに基づいて「岡崎の食材で弁当を作ってみよう」 課題③「岡崎の食材を使ったお弁当」を考えてみよう。	講義 個人ワーク	岡崎を中心とした食材で、お弁当を作るならばどのような食材を使用し、どんな調味料で味付けが出来るか、さらに販売するならば金額はどのように設定できるかなどが理解できる。	(予習) シラバスの学修内容を確認しておく。 (復習) 課題③を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	担当：小野 地産地消のテーマに基づいて作成したお弁当【美味しいはず、ザ・岡弁】と称しプレゼンテーションをする。④-1 課題④-1「他のグループのプレゼンテーションの内容を聞いて、感じた事・思った事・良かった点」をまとめてみよう。	プレゼンテーション 講義	自分たちが作成した【美味しいはず、ザ・岡弁】の紹介と特徴、その内容等が理解できる。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 課題④-1を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	担当：小野 地産地消のテーマに基づいて作成したお弁当【美味しいはず、ザ・岡弁】と称しプレゼンテーションをする。⑤-1 課題⑤-1「他のグループのプレゼンテーションの内容を聞いて、感じた事・思った事・良かった点」をまとめてみよう。	プレゼンテーション 講義	自分たちが作成した【美味しいはず、ザ・岡弁】の紹介と特徴、その内容等が理解できる。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 課題⑤-1を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	担当：小野 地産地消のテーマに基づいて作成したお弁当【美味しいはず、ザ・岡弁】と称しプレゼンテーションをする。⑥-1 課題⑥-1「他のグループのプレゼンテーションの内容を聞いて、感じた事・思った事・良かった点」をまとめてみよう。	プレゼンテーション 講義	自分たちが作成した【美味しいはず、ザ・岡弁】の紹介と特徴、その内容等が理解できる。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 課題⑥-1を作成し、期限までに提出する。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	地産地消のテーマに基づいて作成したお弁当【美味しいはず、ザ・岡弁】と称しプレゼンテーションをする。⑦-1 課題⑦-1「他のグループのプレゼンテーションの内容を聞いて、感じた事・思った事・良かった点」をまとめてみよう。	プレゼンテーション 講義	自分たちが作成した【美味しいはず、ザ・岡弁】の紹介と特徴、その内容等が理解できる。	(予習) プレゼンテーションの準備をする。 (復習) 課題⑦-1を作成し、期限までに提出する。 第15回めのオンデマンド授業の出席の代わりとなる。	180	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	イントロダクション： 生活の豊かさとは何かを考える。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	(予習) シラバスを読んできく。 (復習) 授業で提示した課題に取り組む。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	豊かで安心できる暮らし：①政府の掲げる指針から考える。②災害発生に焦点化した政府の掲げる指針から考える。	講義 ディスカッション 課題のフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	(予習) 先回の授業で提示した課題に取り組む。 (復習) ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	近年の災害の歴史と本学の取り組み：主な災害を調べ、自分の経験も振り返る。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	(予習) 先回の授業で提示した課題に取り組む。 (復習) ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	防災グッズの紹介および個人プレゼンテーションのための準備：ひとりでもサバイバルできるグッズを知る。プレゼンテーションのための調査とスライド作成に取り組む。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	(予習) 先回の授業で提示した課題に取り組む。 (復習) ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	プレゼンテーション(1)：効果的なプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション ディスカッション 課題のフィードバック	テーマに沿ったプレゼンテーションを行う。	(予習) プレゼンテーションの準備を進める。 (復習) プレゼンテーションの準備を進める。終わった場合は、プレゼンテーションの良かった点と反省点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	プレゼンテーション(2)：効果的なプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション ディスカッション リアクションカードのフィードバック	テーマに沿ったプレゼンテーションを行う。	(予習) プレゼンテーションの準備を進める。 (復習) プレゼンテーションの良かった点と反省点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	プレゼンテーション(3)：効果的なプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーション ディスカッション リアクションカードのフィードバック	テーマに沿ったプレゼンテーションを行う。	(予習) プレゼンテーションの準備を進める。 (復習) プレゼンテーションの準備を進める。終わった場合は、プレゼンテーションの良かった点と反省点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	担当：小野・山口 授業内容に関する動画を視聴し、今まで学修して来た授業で何を学び、どのように感じたのか、それを今後の学修においてどのように活用できるかを含めた動画を作成する。(小野) これまで学修した内容を振り返り、教材教材動画を視聴し、出された課題に取り組む。(山口)	オンデマンド配信 小野、山口の課題をそれぞれ提出して、出席とみなす。	学修内容に沿った自分の意見や考えが反映されているか、また活用できるかなどか織り込まれた動画内容になっている。(小野) 教材動画を視聴し、課題をgoogle formsで提出する。(山口)	(予習) 指示された内容の動画を視聴し、理解と把握した後に、動画を作成する。そして期限までに提出する。(小野) これまでの授業内容を理解しておく。(山口) (復習) 指示された内容を理解し、その整理を行い、動画作成の課題を期限内に提出できるようにしておく。(小野) 教材動画の内容でわからないところがないようにしておく。(山口)	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力